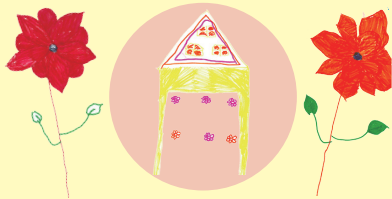


# JIM-NET 便り

2023 11 月号

発行：2023年11月2日



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4丁目4番11号 内藤ビル2C  
電話 03-6228-0746 メール info-jim@jim-net.net



## チョコ募金の季節がやって来た!

### ～チョコ缶でJUSTPEACE!

新型コロナの感染症法の位置付けが5類に移行し、行動制限が解除されました。今年は様々な場で人と人が顔を合わせて会話を楽しむ機会が大幅に増えました。海外からの観光客の姿も多くなり、コロナ前の活気が戻って来たように感じます。一方、日本国内では貧困、物価高、不況が続く必らずしも明るい空気とは言えない中で、チョコ募金の時期を迎えることになりました。

6月の総会で共有された活動計画と予算を組んだ折は1ドル135円。どの活動も大切なので、海外事業部とスタッフたちは額を寄せ合って今年度の活動内容や予算を決めました。ところが、先日から(10月11日現在)一気に円安が進み、1ドル150円にまで円が下がってしまいました。海外で支援活動をする私たちにとっては、大きく頭を抱えてしまう問題です。

今年は、2月6日に起きたトルコ・シリア大地震に対するシリア被災者支援、8月からはイラクで暮らすシリア貧困患者支援のクラウドファンディングにも挑戦し、お陰さまで双方とも9月末日で無事に終了することができました。JIM-NETはチョコ募金、Coffee for Peace!等、自力で活動資金を調達し続けていますが、助けを必要とする人々への支援が減らないよう、ふたつのクラファンへのご協力をお願いしたのです。シリア地震被災者支援では5,438,995円、貧困患者支援では3,015,886円、合計8,454,881円が集まりました。こんなにたくさん募金が寄せられるとは予想もしていなかったので、本当に感動しました。涙が出ました。改めてご協力くださった皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

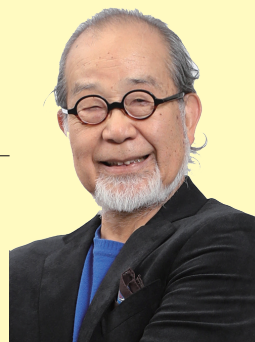
先行きが不透明な日本社会の中で、それでもイラクやシリアで困っている人たちに手を差し伸べてくださる優しい気持ちが何より嬉しいです。残念ながらイラク国内に住む国内避難民やシリ

ア難民への支援は減少傾向にあり、これからの支援がどうなるか、現地でのJIM-NETの責任を感じながらも現実的なことも今後考えなければなりません。

今年のチョコ缶に『赤い薔薇』の絵を描いたシリア難民のシャームちゃん家族は、2020年に混乱のシリアからイラク・アルビルへ逃れてきました。アルビルでの滞在許可証を取得するため、お父さんが弁護士に依頼したところ、パスポートと許可証取得のための代金を持ったまま弁護士は逃亡、警察や治安当局の捜査も及ばず、パスポートも代金も戻らないという事件に見舞われました。全てを失った中で、お父さんは日雇いの仕事を転々としていました。そんな折、シャームちゃんはイラクで血液の病気を発症しました。医薬品代や通院のための交通費を支援していますが、シャームちゃん一家の生活はとても大変です。それでもエンジニアになりたいという夢を持って毎日を生きています。

ロシア軍によるウクライナ侵攻の状況は変わらないまま、また新たな戦争が始まってしまいました。混乱する世界の中で、助けを必要とする人たちが増えています。イラクやシリアの子どもたちもまた、助けを必要としています。今年も「Coffee for Peace!」そして「チョコ募金」を広げていきます。SNSや口コミ、イベントやパーティなどでも活用頂ければとてもとても嬉しいです。結婚式の引き出物や送別会でのプレゼントのお申し出も、喜んで承ります。

JIM-NETは、どこの地域・国であっても、すべての人が等しく幸せに暮らすことができる権利、平和のうちに生きることができる権利「JUSTPEACE」の実現を願って活動を継続します。冬季限定キャンペーン・チョコ募金を今年もどうぞよろしくお祈りします。



鎌田 實  
JIM-NET名誉顧問  
医師



# チョコレートの絵を描いてくれた子どもたち

## ライオン

**アフマド** (9歳)

診断名：血友病／出身：アルビル



アフマドは、生後6ヶ月の時に、出血がなかなか止まらない血液の病気の一つである血友病と診断されました。今でも月に一度病院に通って、治療を続けています。

現在、小学3年生で地元の学校に通っています。アフマドは外で友達や兄弟と遊ぶことが大好きですが、出血しないように十分に注意しなければなりません。

アフマドのお父さんは、「彼はまだ幼いので、自分の絵がチョコレートに使われたことについて、どう気持ちを表現したらいいのかよくわからないのですが、アフマドはとても喜んでいて、自分の絵のお陰でがん患者や他の子どもたちが支援を受けられることを喜んでいて」と話してくれました。



## ちょうちょ

**リン** (9歳)

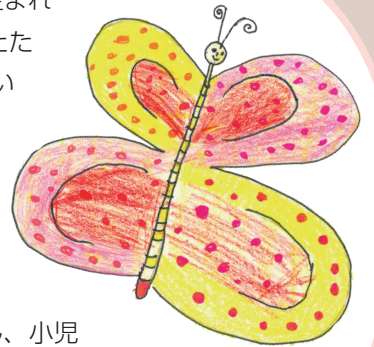
出身：シリア・ダラア



バラの絵を描いたシャームの妹です。リンが生まれ育ったダラアの街は、戦火が街中に広がっていたため、外に出ることができず、家の中で過ごしていました。それでもリンは、いつも元気いっぱい笑顔の絶えない女の子。友達もたくさんいて、バレエを習いたいと思っています。絵を描くのが大好きで、お姉ちゃんと絵を描いたり遊んだりして楽しく過ごしています。

将来の夢はヨーロッパに留学し、小児科医になること。

写真や動画を撮られることが好きで、カメラを向けるといつも両手でハートを作ってくれます。



## バラ

**シャーム** (15歳)

診断名：血液の病気  
出身：シリア・ダラア



4人兄弟で長女のシャームは、しっかり者のお姉さん。いつも妹や弟たちの面倒を見ながら、家の中で楽しく遊んでいます。シャームのお母さんは、彼女が3歳の時に病気で亡くなりました。その後、お父さんは再婚し、継母が彼女の世話をしてくれています。

2021年シャームは家族とともに、先にアルビルに来ていたお父さんのもとにきましたが、'22年に血液の病気と診断されました。シャームは勉強することが大好きで、ソフトウェア・エンジニアになるという夢を叶えるために学校に行きたいと思っています。一方、アラビア語で授業を行っている学校は遠く、家庭の経済状況も悪いため、学校に通いたくても通うことができていません。



## フルーツバスケット

### オレンジ

#### アナス (16歳)

診断名：急性リンパ性白血病 (ALL)  
出身：アルビル



アナスは9歳の時に急性リンパ性白血病と診断されました。2021年に、お父さんが骨髄ドナーとなり、骨髄移植のためにインドで約4ヶ月に及び治療を経て、現在、白血病は寛解しました。



当初は勉強が苦手でしたが、今ではとてもよく出来るようになりました。'22年9月から地元の学校に学年を下げた復学しました。「勉強も今の自分のレベルに合っているし、大変だけど楽しいです」と話しています。将来は警察官になることが夢です。



### ぶどう・いちご

#### ハムザ (11歳)

出身：シリア・ダラア



元気いっぱいな姉妹に囲まれて、少し控えめな性格のハムザは、シャームの弟です。

絵を描いたり、水泳を習うことが好きです。お父さんと一緒に仕事場に行ってペンキ塗りを習うこともあります。将来の夢は、エンジニアになるためにヨーロッパに行って、学校に通うこと。JIM-NETのスタッフが訪問すると、いつも恥ずかしそうにしているけれど、「また来てね!」と最後はいつも笑顔を見せてくれます。

### バナナ

#### レズダール (11歳)

診断名：急性リンパ性白血病 (ALL)  
出身：アルビル



レズダールは化学療法を20日おきに1回受けていますが、副作用で足に問題が出て、うまく歩けない状況です。病院の先生たちも原因を探るために話し合いを続けています。



現在は、小学校4年生に復学しました。「大きくなったら、国を守る治安部隊になりたい。他の子どもたちを助けるために、もっと絵を描きたい。ピクニックに行ったり、遊んだり、スタッフや先生がとても親切にしてくれるJIM-NETが大好きです」と話してくれました。

### いちじく

#### シマ (11歳)

診断名：急性リンパ性白血病 (ALL)  
出身：アルビル



シマは将来、医者になって人々の病気を治療することを夢見る女の子です。弁護士になりたいという夢も持っています。今年、白血病が寛解し、地元の学校に戻りました。JIM-NETのサマーアクティビティの演劇コースでは、演者として参加し、とても上手に演技をしていました。



シマは両親と3人の兄弟と共に暮らしていますが、お父さんは、シマの病気が分かった時と同じ時期に心臓病を患い、短い距離しか歩くことができません。今回、自分の絵がチョコ缶に選ばれて、多くの人たちが応援してくれるのは本当に嬉しいと喜んでいました。

## チョコ募金のポストカード (3枚1セット) のデザインを手掛けてくれた筑波学院大学の3年生、菊地くんのメッセージ♥

筑波学院大学メディアデザインコース3年・菊地翔真



今回のデザインで難しかったのは、「子どもたちの素敵な絵を、更に素敵なものにするにはどうすればいいのか」でした。

自分の好きなようにデザインをしてしまっただけでは、子どもたちの絵を台無しにしてしまいます。そこで、まずは知ることから始めようと考え、しばらくは写真で子どもたちの顔をみたり、JIM-NETの活動やイラクについて調べたりしました。そしてたどり着いたのは、子どもたちの個性溢れる絵に寄り添い、魅力的に見せるデザインにすることでした。できるだけシンプルに

することで、納得のいくものになりました。

実際に出来上がったポストカードやチラシを見た時、とても綺麗な仕上がりになっており、嬉しかったです。デザインが誰かの役に立つという経験は、私がこれからデザインを続けていく上でとても大切な感覚となりました。

この度は素敵な絵を描いてくださったイラクの子どもたち、貴重な経験をさせてくださったJIM-NETの皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

## 活動紹介

### 【イラク小児がん支援】

世界的な物価上昇の影響はイラクにも波及し、日用品や食料、ガソリンなど軒並み値上げが続いています。コロナ禍以降、失業率の増加や経済の悪化は人々の生活を圧迫しています。がんの治療を受ける子どもたちの家族においても、経済的な厳しさは増しており、貧困患者支援の需要は増加しているため、昨年度よりも更に予算を増額し、支援を強化しています。

院内学級を卒業し、地元の学校に戻ったがんの子どもたちのケアを続けています。校長やクラスの先生、またクラスの子どもたちに対して現地スタッフががんに関する正しい知識を伝えるなど、がんの子どもたちがスムーズに学校に戻れるようにサポートしています。

医薬品は政府からの供給が改善されつつあります



が、未だ必要とされる医薬品が供給されていません。今年度も引き続き、各病院の状況に応じて、必要な医薬品を迅速に支援できる体制をとり、医薬品支援を継続しています。

### 【難民支援】

イラク国内で5カ所のシリア難民キャンプ及び国内避難民キャンプ、シリア国内（北東部）では4カ所の国内避難民キャンプを支援しています。イラク国内では、シリア難民が暮らす難民キャンプで妊産婦ワークショップの開催、無乳糖粉ミルク、おむつ支援や医薬品支援を継続して実施しています。また、現地パート

ナー団体と共に、ドホーク県の難民キャンプでも支援活動を広げています。過激派組織ISに迫害され、現在も故郷に帰れないヤジディ教徒の人々が住む難民キャンプ内で、

避妊具の配布や望まない妊娠を防ぐための活動を含む

家族計画支援を行っています。

シリア国内には、現地スタッフがシリアに渡航し、現地の協力団体と連携しながら特に不足している医薬品を届けています。2023年2月に発生した大地震の影響や不安定な情勢で避難民が増加していますが、国際機関からの支援も殆ど届かない状況です。キャンプ内での生活も苦しく、できる限り支援を続けています。



### 【福島支援】

昨年度は、保養活動を再開した団体も徐々に増え、放射能測定、保養活動、定期健康診断を行う6団体を福島基金として助成いたしました。

今年度も公募し、子どもたちを支援する取り組みを応援してまいります。

来春  
開催!

## JIM-NET発足20周年記念イベント『JUSTPEACE!20』

お陰さまで来年はJIM-NETが発足して20年を迎えます。イラク戦争の混乱時から多くの皆さまの温かなご支援を頂戴して活動を続けております。この3月にはイラク戦争開戦から20年の節目として神保町・文房堂で写真と絵画展を開催し、イラク戦争時には生まれていなかった世代の方々も来場くださったことが印象的でした。

来春も同じ会場で今日まで出会った子どもたちと



彼らの絵を中心とした展示や様々なグッズをご用意いたします。既に歌手の方からピアノの伴奏でイラクの歌を披露くださるお申し出もあり、普段は経験できないようなミニイベントの連日開催を計画中です☆リアルにお会いできる貴重な機会ですので、今から**2024年3月14日～19日**の日程をご予定に入れて頂ければ幸いです。



♡お申込みは11月20日(月)から受付スタート♡

チョコ  
募金

電話: 03-6908-8473 (平日10時30分～16時)  
ホームページ: <http://jim-net.org>

※配送手数料は、別途ご負担をお願いしております。  
お申込みの詳細は、同封のチョコ募金チラシをご覧ください。

チョコ募金の  
お申込みは  
こちらへ



特定非営利活動法人 JIM-NET (ジムネット)  
郵便振替口座 00540-2-94945 加入者名 日本イラク医療ネット  
Facebook、Twitter、Instagramもぜひご覧ください。『JIM-NETで検索』

募金・サポーター会費はこちらへ→

